

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2014年12月24日）

本日は、昨年からはじめた野田中学校での学習支援活動でした。昨年は1泊2日で行いましたが、今年は本学の授業日程と重なったため、残念ながら日帰りの活動となってしまいました。野田中学校では、年に三回の長期休み（春、夏、冬休み）のはじめに、自主勉強会を開催していて、昨年からは自主勉強会のアシスタントとして、お誘いをいただき、実施している事業です。今年は、授業日程の関係で春休みのみ実施し、夏休みは八戸高専の皆さんが我々の代わりにお手伝いを実施してくれました。ということで、なんとしても冬休みは実施したいという思いが強かったのです。

野田村では民間の学習塾がなく、また震災の後、仮設住宅で生活している生徒さんも多く、長時間集中して勉強する環境が不十分な状況が続いています。また、野田村ではお兄さんやお姉さんたちが大学に進学するためには、村外に出なければならぬので、大学生のお兄さんやお姉さんとお話をする機会も多くないようです。そのため、この勉強会は野田中学校の皆さんが、大学進学や勉学への興味を持ってもらうよい機会となっているのです。

本日の活動に参加したのは、理工学部3名、農学生命学部1名、人文学部の2名、引率教員1名の7名でした。14時からの勉強会だったため、弘前を8時過ぎに出発しました。前日、弘前市民から新たにクリスマスプレゼントが追加で届いたため、急きょサンタさんの準備などもあって、出発時間が少し遅れました。幸い、道路状況は良く、思ったより早めに野田村に到着しました。

まず、最初に12月13日に子供用のプレゼントを届けることができなかった玉川保育園に向かいました。当初の予定にはなかったのですが、急きょ学生2名がサンタさんに変身し、園児の皆さんにクリスマスプレゼントをお届けしました。保育園の門を開けてサンタさんが「ホホホ、よいこのみなさん」と声をかけると、思わぬ訪問客に少々驚いた様子の子供たちからは、「わーい、サンタさんだ、やったー」という歓声が上がりました。一人一人にプレゼントを渡すと、満面の笑みで「ありがとうございます」と丁寧に元気よく言ってくれました。最後には、園児の皆さんから「花は咲く」の歌のプレゼントをいただきました。クリスマスプレゼントが不足して、お届けできなかったのが心残りだったトナカイにとって、大変嬉しい、微笑ましい光景でした。



玉川保育園でのクリスマス会

その後は、下安家地区の仮設住宅を訪問しました。すでに、多くの世帯がすぐ隣の高台移転地区の新居に転居され、1軒のみが新築の完成を待っていました。移転された新居を訪ねると顔馴染みの住民の皆さんが笑顔で出迎えてくれました。「震災当初から今まで本当にありがとうございます。おかげさまでなんとか落ちつくことができました。」「今度はゆっくり遊びに来てください」と温かいお言葉をいただきました。新居に移転され、ホッとされている皆さんの様子に嬉しい気持ちいっぱいのお訪問となりました。



下安家地区訪問と年賀状配布の様子

皆さんと話しているうちに、時間ぎりぎりになり、急いで野田中学校に向かいました。野田中学校では、校長先生と副校長先生が我々を迎えてくれました。校長先生からの挨拶と副校長先生からの簡単なオリエンテーションの後、早速教室に入りました。今回は、今までと違い、1年生から3年生までの希望者、40名弱が参加してくれました。自己紹介の後、各自それぞれの方法で生徒さんに近づいていきました。



今回の参加者の中には、教職の科目を受講している学生も多く、皆さん積極的に声をかけて、生徒さんとコミュニケーションを取りながら、質問を受けていました。また、以前からの学習支援で顔馴染みの生徒さんも多く、戸惑うことなく一緒に問題を解き始めていました。中には、数学の問題に戸惑った大学生もいたようで、生徒さんと一緒になって、問題を解いていました。そして、一緒に解

けた時の嬉しさは格別だったようでした。2時間の勉強会はあっという間に終わりました。勉強会の最後に、生徒代表からお礼の言葉がありました。「クリスマスイブの大事な日々にもかかわらず来てくれてありがとうございました。」の言葉に一度大爆笑でした。勉強会終了後に、校長先生から大学生の皆さんに生徒さん手作りのクリスマスケーキのプレゼントがありました。大学生の皆さんにとっても貴重なクリスマスになったようです。

(担当:李永俊)